

# 特別支援だより No.6

令和2年5月17日（月）

特別支援教育コーディネーター 松田敦子

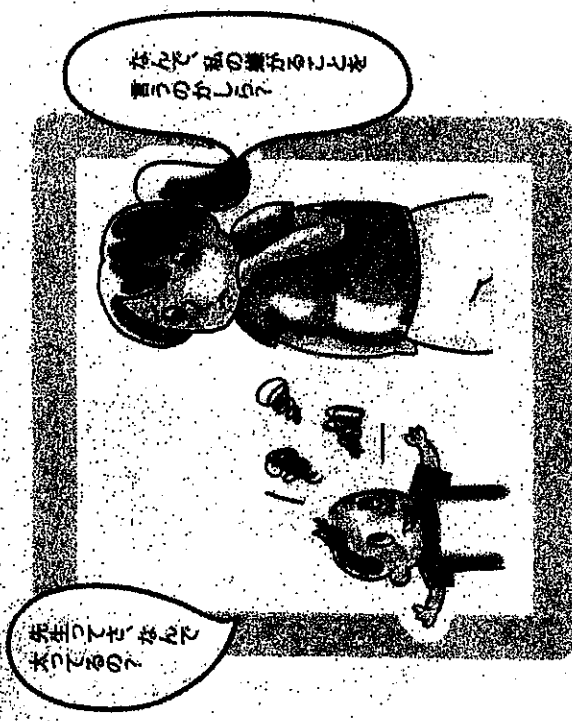
## カテゴリー

## 発達か気になつたら②

「普通」という枠で比較してしまうと、

人の優がることばかりする

言葉使いの悪い子と評価されることが多くなります。



なんで、あの子は  
人の気持ちか  
分らないの？

本人の気持ち

だって、本当のこと  
言ってるだけなのに。

本人の気持ち

### POINT /

人の優がることばかり言ってしまう子は、真地悪でわざとそう言っているのではなく、目で見たことを正直にありのまま口にして言っているだけかもしれません。つまり、声の大きな独り言という状態なのです。

「普通」という枠を外してみると、思ったことを口にしてしまっただけなの  
かもしれません。相手の反応に気づき、何をどうすればいいのかが、

その場面場面で根拠よく、繰り返しルールを教えることが大切です。



おだやかな調子で  
具体的に教えて  
あげればいいんだね。

本人の気持ち

本っている人に  
本っていると言つては  
いけないんだね。

本人の気持ち

### POINT /

やりどりのルールをわかりやすく伝える工夫をすることで、その場に応じた適切な言い方を学ぶことができます。そして、子どもたちがその場にふさわしい言い方ができたときには、うんとほめてあげましょう。相手の反応に気づき驚かすことができたときにも、ほめてあげましょう。